

Matsuda

松田町議会だより



町議会サイトは
こちらから

No.223
2021.8.1



コロナ感染予防を徹底した大名行列教室 (2021/7/4 ジュニアリーダースクール)

第2回定例会の概要・条例改正 … 2	一般質問 …………… 4
条例改正・補正予算・ 発議・報告ほか …………… 3	審議結果・第2回臨時会の概要 … 7
	住みやすい町を目指して④ …… 8

令和3年 第2回定例会 会期 6月2日(水)～7日(月)

6/2 一般質問
寺嶋議員・平野議員 (P4)
中野議員・齋藤議員 (P5)
井上議員・田代議員 (P6)

6/3 議案審議等
議案8件(条例・補正予算)

6/4 委員会審査
総務文教常任委員会(条例)
産業厚生常任委員会(条例)

6/7 議案審議等
委員会報告(条例)、発議(決議)、
報告3件(繰越明許費、事故繰
越し)、ほかが行われ、閉会し
ました。

条例

▼松田町行政協力委員に 関する条例

地方公務員法及び地方自治法の一部改正により、特別職に関する任用要件や身分が厳格化されたことに伴い、町の様々な事業の執行に大きく携わる行政協力委員の特別職としての位置づけを明確にするものです。総務文教常任委員会に付託をし、6月4日に委員会を開催しました。担当課から

第2回定例会は、6月2日から7日までの6日間の会期で開催されました。条例(新設2件・一部改正3件)、補正予算3件、発議1件を審議し、報告3件(繰越明許費繰越計算書、事故繰越し繰越計算書)を受けました。「松田町行政協力委員に関する条例」は総務文教常任委員会に、「松田町寄農と交流拠点施設の設置及び管理に関する条例」、

「松田町やまびこ館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例」は産業厚生常任委員会に付託して審査をしました。なお、「松田町行政協力委員に関する条例」と「松田町寄農と交流拠点施設の設置及び管理に関する条例」は各常任委員会で閉会中の継続審査となりました。また、「発議第3号 株式会社ディーエイチシーとの包括連携協定を破棄することの決議」を出席議員全員で可決しました。その他定例会の概要を掲載します。

文の規定内容等の説明を受け審査しましたが、議会閉会中の継続審査となりました。

▼松田町寄農と交流拠点 施設の設置及び管理に 関する条例

農業体験や自然体験に親しむ町内外の方々の休養と交流のための施設として、ふれあい農園施設の管理棟を活用し、地域振興及び経済の活性化に繋げることを目的に条例を制定するものです。産業厚生常任委員会に付託をし、6月4日に委員会を開催しました。担当課

から、目的等の説明を受け審査しましたが、議会閉会中の継続審査となりました。

▼松田町やまびこ 館の設置及び管理 に関する条例の一 部を改正する条例

やまびこ館の利活用を促進し、地域交流を活性化させるため、施設整備等に伴う使用料の設定に関する改正をするものです。前記条例と関連する使用料の設定であるため、産業厚生常任委員会に付託

をし、6月4日に委員会を開催しました。担当課から細かく説明を受け、賛成全員で可決とし、本会議でも可決となりました。



ふれあい農園施設の管理棟



coworkingスペースを整備したやまびこ館

議案第26号
松田町やまびこ館の設置及び管理に
関する条例の一部を改正する条例

産業厚生常任委員会報告書(抜粋)

審査の結果、料金設定は適切なものであると判断しました。

なお、次の項目について、申し入れをします。

- (1) 休憩利用とワーキングスペース利用が混在したときの運営の方法を工夫すること。
- (2) 利活用を充実させるためPRは指定管理者任せにせず、町が率先して行うこと。
- (3) やまびこ館の建物を良好に維持するため、大きな修繕等は町の責任で行うこと。



補正予算で購入する可搬ポンプ一式

▼松田町税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、軽自動車税（環境性能割のグリーン化特例の一部延長）等について改正するものです。

補正予算・発議

▼令和3年度松田町一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ2320万1千円を追加し、予算総額を66億3138万1千円とするものです。主な内容は、歳入は松田小学校整備事業に伴う国庫補助金の増額と町債

▼松田町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例

税制改正大綱により、地方税関係書類について、一部を除いて押印を要しないこととされたため、改正するものです。

の減額並びに教育施設整備基金繰入金金の減額です。歳出は、子育て世帯生活支援特別給付金事業、退職消防団員報償金、感染症対策商工振興商品券発行事業補助金などの補正

をするものです。

▼令和3年度松田町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ228万円を追加し、予算総額を7452万9千円とするものです。主な内容は、診療報酬、一般病理検査委託料などを補正するものです。

▼令和3年度松田町下水道事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ220万円を減額し、予算総額を25億186万9千円とするものです。主な内容は、町債、酒匂川流域下水道事業建設費負担金などを補正するものです。

報告

▼令和2年度松田町一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について

町道3号線道路改良工事1479万4300円を、令和3年度へ繰越した計算書の報告がされました。

▼令和2年度松田町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

廃棄物等運搬用トラック購入費と新松田駅南北自由通路設計委託の2事業、1433万8千円を令和3年度へ繰越した計算書が報告されました。

▼令和2年度松田町下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について

発議第3号 株式会社ディーエイチシーとの包括連携協定を破棄することの決議

【発議第3号】決議書（抜粋）

松田町と株式会社ディーエイチシーとの包括連携協定を破棄することを求める決議書

令和3年6月2日付の神奈川新聞の記事内容及び6月3日の議会全員協議会における齋藤議員の質疑に対し、本山町長は「ヘイトスピーチにも捉えられる内容で文書を削除しない場合は協定の解除も考えた。一方で協定項目に違反したわけではなく、会社自体を信用していないわけでもない。インターネット上のヘイトスピーチの文書削除を粘り強く求めていたものが通じた。会長も反省していると説明を受けている。」などと説明し、包括連携協定は継続すると発言した。

このことに対し、株式会社ディーエイチシー会長のヘイトメッセージ (<https://top.dhc.co.jp/company/image/cp/message1.pdf>) は今も削除されていない。

松田町は、ヘイトスピーチを発する会社であればインターネット上に現在も過去にもその事実があれば、削除したか否かにかかわらずその会社とは直ちに関係を絶ち、マイノリティーを守るという社会の責務、自らの地方公共団体として誰もが平等であり誰をも尊重するという責務を重く認識しなければならない。

このことにより、現在締結している株式会社ディーエイチシーとの包括連携協定については、ただちにこれを破棄すべきであり、町に対し強く協定の破棄を求める。

※ヘイトスピーチ…特定の国の出身者であること又はその子孫であることのみを理由に、日本社会から追い出そうとしたり危害を加えようとするなどの一方的な内容の言動

※マイノリティー…少数派、社会的少数者

審議の結果

採決の結果は、7ページをご覧ください。

令和3年度一般会計予算審査特別委員会報告書で「木質バイオマス利用促進事業補助金」は、「薪の供給体制を含め、当初計画した効果が期待できるような実施計画を定めるまで執行を凍結されたい」としましたが、町から6月定例会中に「実施計画」が提出されたことを報告します。

松田小学校入り口交差点



酒匂川流域下水道事業建設費負担金125万7千円を、令和3年度へ繰越した計算書の報告がされました。

一般質問

ここが聞きたい

町長等の執行者に対して、町政全般の事務事業等の執行状況や政策方針などを聞くことが一般質問です。

避難情報の改正と住宅の耐震化促進について



質問者
寺嶋 正 議員

災害時に市町村が発令する避難勧告を廃止し、避難指示に一本化する災害対策基本法が改正された。

(1) 風水害の情報をも5段階に分類する大雨・洪水警戒レベルを改定する意義と内容、災害弱者の個別避難計画の作成等町の対応は。

(2) 災害時に避難の手助けが必要な住民をリストアップする「避難行動要支援者名簿」をめくり、全市町村の4割が難病患者を掲載対象としていないことが新聞等に載っている。名簿に載せる範囲と活用方法は。

(3) 町の耐震改修促進計画では住宅の耐震化率目標を5年間で72%から95%にすることになっている。木造住宅の耐震改修

が進まない要因と対応策と合わせて、危険ブロック塀の掌握はされているか。



避難情報をシンプルかつ理解を容易にするために改定

回答 (町長)



(1) 理解を容易にするため、避難レベル3が、いち早い避難につながるため名称を「高齢者等避難」に変更、避難レベル4は、「避難指示」に一本化された。

(2) 要支援者名簿に載せる範囲は、持病の度合い、親族の連絡先、かかりつけ医の情報などを記載し、町、自治会、民生委員等

が保管し、非常時の情報共有に役立てる。

(3) 改修対象となる建物の方に対して、毎年100件程度の戸別訪問を実施している。

新松田駅前整備事業について



質問者
平野 由里子 議員

新松田駅前整備事業については、3年間の継続事業として計上されていた債務負担行為が削除されましたが、その後の影響や現状について伺います。

(1) 駅周辺地域整備促進支援業務委託料900万は認められていますか、現状はいかがですか。

(2) 新松田駅周辺地域まちづくり協議会のメンバーとしてJR東海はすぐには入らないとのことでしたが、JR東海の理解と協力が必要です。今後どのようになる予定ですか。

また、町広報誌を活用して木造住宅耐震診断費補助制度や、耐震改修工事費補助制度の内容を説明している。

(3) 総合計画に基づき具体的に取り組み始め、2年前には駅周辺整備基本構想・基本計画を発表し事業を推進されて来ましたが、町民への説明が十分だったとは言えないと思います。改めて町民への説明、また民意を確認する予定はありますか。



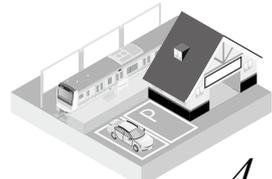
現状を丁寧に説明し関係各所にご理解頂いている
回答 (町長)



(1) 毎年議会承認を得てきた継続事業で、地権者を対象とした勉強会や戸別訪問などで、事業の仕組みや流れを理解して頂く業務である。今年度は意思を確認しながら実施区域を定め事業の精査を行う予定であった。しかし、駅前広場詳細設計債務負担行為が削除され、面積の確定やスケジュールも不明確になり、900万の予算執行も憂慮している。

(2) JR東海は交通事業者部会に出席されている。適宜連絡を取り、静岡支社にも出向き調整を行っている。

(3) 整備基本計画・基本構想の策定時に説明会やパブコメを実施し、完成後は町ホームページに掲載し、地域懇談会などで配布した。今後まちづくり協議会を開催したりして民意を確認しながら進める。



想定外の自然災害を見据えて



質問者
中野 博 議員

今年も間もなく台風シーズンがやって来ます。近年全国的に起こる水害による猛威には、なす術もなく唯一、早めの避難が最良かと思えます。そんな中、この度開成町と連携し、「まるごと、まちごとハザードマップ」の案内板を町中の電柱に取り付けをしました。町民への普及啓発の手段は。富士山ハザードマップが、17年ぶりに改定され、従来の被害想定よりもさらに大きな被害となり、

5月号の広報紙にも掲載され、町民の動揺は隠せません。

松田町も広域避難計画の作成を急いでいるようですが、進捗状況と町民への説明等は。

町民の安心安全は町の最重要課題

A



回答 (町長)

ハザードマップ 案内板



この事業は、町民の水害に対する危機管理の向上、避難所の認知度向上を図る事を目的とし、台風シーズンを迎えるにあたり、自主防災会に対し、防災講習会を実施してハザードマップや案内板の理解と普及のため、正しい防災知識の周知と徹底を図って行く。

富士山火山ハザードマップの改定については、今後、国の中央防災会議

より松田町を含む県内7市町が火山災害警戒地域に指定される予定になっている。山梨、静岡、神奈川県及び県内の関係市町村で構成する「富士山火山防災対策協議会」が令和3年度に作成する「広域避難計画」を受けて、令和4年度以後に「松田町広域避難計画」の作成と「松田町地域防災計画」を改定する予定である。

松田小学校校舎建設事業に係る申入れ等について



質問者
齋藤 永 議員

(1) 工事施工監理業務は、随意契約によらず公正公平な競争入札のもと、契約業者を決定しましたか。

(2) 発注者である町が厳格な事業の監理を行うための一級建築士を、新たに雇用しましたか。

(3) 校舎建設クラウドファンディングの結果、どのくらいの金額とそれをどの様に利用しますか。

議会申し入れ事項等について

A



回答 (町長)

(1) 基本協定書の変更を行い、設計・施工を担う共同企業体とは別の企業

体として、共同企業体の中の企業と本施工監理業務の随意契約をした。

(2) 1級建築士は、常駐させると2年で1500万円ほどの人件費がかかるため、雇用していない。

(3) 目標300万円のところ、結果は43件、58万6千円だった。この寄付は教育施設整備基金へと積み立てた。寄付を頂いた方にはオリジナル記念品をお送りしている。

建設中の松田小学校校舎



町の工事等の契約におけるプロポーザル方式の影響及び評価、職員の間と懲戒処分の実態について

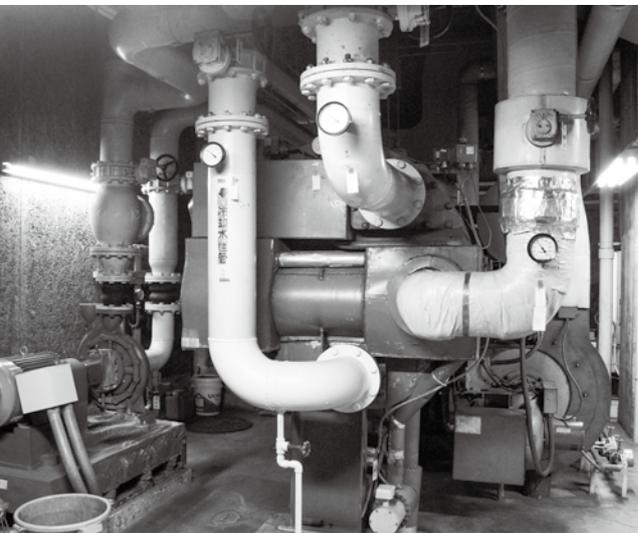


質問者
井上 栄一 議員

(1) これまで町民文化センター改修工事、松田小学校建築工事など大規模事業において、プロポーザル手法による工事請負や建築設計及び工事の施行・契約が行われたが、プロポーザル方式によってそれぞれの事業についてどのような影響または

(2) 令和元年度の町職員の人事行政の状況では職員の間限処分者数12人、懲戒処分者数8人と

29年度以前と比べ大幅に増加している。そこで令和2年度の町職員の人事



旧町民文化センター 冷却装置

行政の状況では、分限及び懲戒処分者数は何人か。令和元年度及び2年度の処分についてどのような理由・内容・状況で処分されたのか伺います。

(1) 町民文化センターの改修工事はプロポーザル方式で対応した。アスベスト処理経費が途中で発生したが、業者の努力で金額を変更せずに工事請負変更契約を行った。

松田小学校建築事業のプロポーザル締結の際、協定書31億5500万円は、県・文科省との協議で契約書に当たらないため、工事契約の議会承認は不要と判断した。

(2) 令和2年度の懲戒処分は6件あった。懲戒処分の件数は、令和元年度8件・令和2年度6件であるが、理由・内容・状況について、「松田町職員の懲戒処分の指針」で規定されているが回答はなかった。



松田小学校
解体工事は随意
契約で執行



回答 (町長)

町長職、残り最長で4年と3ヶ月余の政策を伺う!



質問者
田代 実 議員

本山町長は2013年9月に初当選後、選挙公約に基づき自らの在任期間を「3期12年とする多選自粛条例」を制定されました。それによると残り最長で4年と3ヶ月余となります。そこで町長の政策について伺います。

(1) 9月の町長選挙で3選を果したとして、2025年9月の任期満了をもって公約どおり勇退されるのか。

(2) 松田町創生推進拠点(スプラポ)は、「女性の活躍を支援する交流施設」を目的に整備したが、現在の活用は逸脱している。目的に沿った施設とするための対策は。

(3) 3月議会で修正可決した「新松田駅周辺整備事業」と、条件を付して凍結した「木質バイオマス事業」についての対応は。



早期に駅前広場等
整備計画の熟度を
上げていく!



回答 (町長)

(1) 2期目が満了する9月まで、全力で政策課題に取り組んでいく。

(2) 女性・男性にとらわれず、パートナーシップ等の多様性を認め合い、あらゆる分野で「双方が活躍するために必要な事

松田町創生推進拠点施設 スプラポ



業」として、民間業者の主体的な取り組みを尊重し、推進していく。

(3) 早期に駅前広場を中心とした整備計画の熟度を上げ、民間事業者が参入しやすい状況を創りだす。「駅前広場整備の進捗なくして民間の協力事業者参入なし」と考えている。

今後の町公共施設大規模補修の事業費、近隣市町との広域行政で整備する施設の事業費に基づく財政推計については、未確定の内容が含まれ他自治体に対する影響が出るため、現時点では提示できない。

議案審議結果一覧

第2回定例会（6月議会）

○…賛成 ●…反対 可…可決 欠…欠席

議案等番号	議案等	議員名(議席順)	審議結果	唐澤	古谷	内田	平野	田代	井上	南雲	中野	齋藤	寺嶋	大館
				一代	星人	晃	由里子	実	栄一	まさ子	博	永	正	秀孝
議案24	松田町行政協力委員に関する条例			総務文教常任委員会へ付託・継続審査										
25	松田町寄農と交流拠点施設の設置及び管理に関する条例			産業厚生常任委員会へ付託・継続審査										
26	松田町やまびこ館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例(産業厚生常任委員会報告)		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	松田町税条例の一部を改正する条例		可	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
28	松田町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例		可	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
29	令和3年度松田町一般会計補正予算(第2号)		可	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
30	令和3年度松田町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第1号)		可	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
31	令和3年度松田町下水道事業特別会計補正予算(第1号)		可	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
発議 3	株式会社ディーエイチシーとの包括連携協定を破棄することの決議		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 飯田一議長は採決には加わらない。
 ※ 議案第24号は総務文教常任委員会へ、議案第25号は産業厚生常任委員会へ付託し、閉会中の継続審査となり採決は行っていない。
 ※ 発議…議員が意見書や条例等の議案を提出すること。

第2回臨時会（令和3年4月22日）

○…賛成 ●…反対 可…可決 承…承認 欠…欠席

議案等番号	議案等	議員名(議席順)	審議結果	唐澤	古谷	内田	平野	田代	井上	南雲	中野	齋藤	寺嶋	大館
				一代	星人	晃	由里子	実	栄一	まさ子	博	永	正	秀孝
承認 1	専決処分の承認を求めることについて(松田町税条例の一部を改正する条例)		承	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案23	令和3年度松田町一般会計補正予算(第1号)(一般会計補正予算審査特別委員会報告)		可	○	欠	○	○	○	●	○	○	○	○	○

※ 飯田一議長は採決には加わらない。

▼令和3年度松田町一般会計補正予算(第1号)
 新型コロナウイルス感染症総合対策事業に係る消耗品購入や、グリーンベルト(路面表示)整備工事、学校等トイレ手洗い自動水栓化工事などのため、歳入歳出それぞれ3818万円を増額し、

地方税法等の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、固定資産税に関する経過措置を令和5年度まで延長されました。施行期日が4月1日であるため、3月31日に専決処分した条例の一部改正の承認を求めるものです。

4月22日に第2回臨時会を開催し、承認1件、補正予算1件の審議をしました。
 ▼専決処分の承認を求めることについて(松田町税条例の一部を改正する条例)

第2回臨時会

※本会議の採決は上記のとおり
 予算総額を6億818万円とするものです。議員11人で構成する補正予算審査特別委員会を設置し審査しました。委員会では、左記の事項を強く申し入れ、賛成多数で可決となりました。

【議案第23号】松田町一般会計補正予算(第1号) 一般会計補正予算審査特別委員会報告書(抜粋)

審査の内容
 次の事項について強く申し入れます。
 (1) ポリエステル製マスク(奴さんプリント)の購入については凍結し、消耗品の購入に当たっては住民のニーズに合ったものを検討されたい。
 (2) 事業執行に当たっては自治会との連携を密にし、コロナ対策を進められたい。
 (3) 新型コロナウイルス感染症総合対策事業の消耗品及びトイレ手洗い水栓化工事等の執行については、地域経済活性化のため、地元業者を活用されたい。



ようこそ シニアクラブ松田へ

シニアクラブ松田会長 永高 光男さん(城山在住)

活動の歴史と現況

「シニアクラブ松田」とは、昭和59年に設立された「松田町老人クラブ連合会」の衰退を受け、平成29年度に大幅な改革を行うと同時に名称をも改めた松田町のシニア層のための組織のことで、それまでは老人福祉法で認められた「地域別クラブ」会員のみしか参加できない閉鎖的な連合体でしたが、地域別クラブの相次ぐ崩壊・再生困難な実態を踏まえ、現状に適した実践的な組織へと改革を図りました。

改革の目玉は、本部直轄の「個人会員制度」の採用と「種目別クラブ」の導入です。これにより地域クラブのない地域の仲間たちも参加できる開放された組織に改めました。現状では6種目別クラブ+3地域クラブの体制で活発な活動を展開しており、行き場を失っていた仲間たちに大変喜ばれております。

シニアクラブ松田は常に進歩を目指します。

改革の次のステップは、組織のIT化です。

令和3年度には全役員がスマホ保有を実現し、役員間連絡網の構築を完成します。また、組織としてPC・iPadの導入を行い、活動データのデジタル化を進めると同時に、ホームページの構築

に着手、近日公開の見込みです。

活動へのお誘い

シニアクラブ松田は松田町に住むすべてのシニア層に開放されたオープンな組織です。誰でもいつでも「体験参加」ができるよう窓口を開いてお待ちしております。仲間とお誘い合わせ、気軽に覗いてみてください。たくさんのお知り合いの方がそこにいると思います。

なお、活動内容・開催日時等は、毎月発行(全戸回覧)の「シニアクラブ松田一クラブ活動」のチラシでご確認ください。

目指すところ

人生100年時代、我が国の平均寿命は毎年延び続けていますが、個人で見たときの余命には大きなバラツキがあり、然もその残量は残念ながら予測ができません。このいつ果てるやも知れぬ「人生の最終ステージ」を如何にして・有意義に生きるか?はシニア層にとっては切実な課題です。

シニアクラブ松田は、この課題の解決に向かって、“人貧乏するな! させるな!”を合言葉に、より充実したシニアクラブ活動を展開し、シニア層の更なる活性化を具現化することを通して、住みやすい町づくりに寄与し続けます。



シニアクラブ松田 2020初詣

※「住みやすい町を目指して」活動されている方や団体が、このコーナーに掲載を希望される場合は下記までご連絡ください。

松田町議会放映始めました

https://www.youtube.com/channel/UCL4dvVAqj_rasGCH1COFwEw

【公式】松田町議会(チャンネル) スマートフォン等からのアクセスはこちら

YouTube 松田町議会



松田町議会基本条例に基づき「開かれた議会」を推進するため、一般質問の動画を公開しています。

第3回定例会は9月13日(月)開会

新型コロナウイルス対策のため、傍聴は10席となっております。

発熱等症状がおありの方は、ご遠慮ください。

編集 あとがき



コロナウイルスの猛威は1年を経過しても衰えることなく収束の出口はまだ見えません。ワクチン接種が早期に終わるように期待したいです。

これからの時期、大雨による川の増水が心配されます。神奈川県雨量計が各地に設置されておりインターネットで確認できます。防災の観点から利用して見たいかがですか。

私たちが委員の誌面作りはこの号が最後になります。任期中8誌の編集を行い町民の皆さんに読んでいただける誌面作りを心掛けてきましたがいかがだったでしょうか。

ありがとうございました。(古谷)

- | | | | | | | |
|-------|-------|------|-------|-------|--------|-------------|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 | 議会広報広聴常任委員会 |
| 大館 秀孝 | 飯田 一実 | 田代 実 | 古谷 星士 | 唐澤 一代 | 南雲 まさ子 | |